

国際交流サロン

新年度から、新しい企画「私たちの身近な物の発祥地探し」を始めます。4月は「ワインの発祥地探し」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

モノ／コト	ワイン
発祥地	レバノン。北にコーカサス地方、東にメソポタミア、西にパレスチナの三角形の地帯に位置し、この地域が一般的にワインの生産の発祥といわれる。
いつごろ	紀元前6000年ごろ
誰がはじめたか	レバノン人またはコーカサス地方の人々。世界最初のワイン商人はレバノンの湾岸沿いを拠点としたフェニキア人。



外国人
救命講習会

5月の国際交流情報

平成25年度笠間市国際交流協会総会

5月18日(土) 13:30~15:30

会 場：笠間稲荷神社 稲光閣

一部：総会

二部：講演会「地震・津波からの復興、2年がたって」

塩釜市民ボランティア希望

代表 あいざわ じゅんいちろう 會澤 純一郎

☆5月の日本語教室の開講日

5月11日(土)・18日(土)・25日(土)

(友部公民館 午前10時~)

笠間市国際交流協会総会及び講演会のご案内

笠間市国際交流協会では、平成25年度総会を5月18日(土)笠間稲荷神社・稲光閣にて、午後1時半より開催します。協会が東日本大震災の復興支援で交流を続けている、塩釜市民ボランティア「希望」代表の會澤純一郎さん(<http://www.shiogamashi.com>)をゲストに迎え、「地震・津波からの復興、2年がたって」の演題でお話を伺います。また、皆さんとの交流会を合わせて開催します。どうぞご参加ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

市長コラム

障がい者の職場を訪問

先日、2つの障害者自立支援施設を訪問しました。現場で黙々と自分のペースで働く方々の姿には、働くことへの意欲を強く感じました。一生懸命に仕事に取り組み姿勢は、我々も見習うべきところがあります。その一方で、毎日の生活を送ることの大変さと難しさを感じました。

また、障がいを持つ方の程度や種類、家庭環境などは複雑化してきており、個人にあった、きめ細かな対応の必要性も感じました。

施設の代表の方に話を伺うと、障害者自立支援について多くの悩みや課題があり、仕事とはいえ職員の方々のご苦労は大変なもので、強い使命感と意思を持っ

ていなければできない仕事なのだと、改めて頭が下がる思いがしました。さらに、施設の代表としての立場ゆえの悩みもあるようで、施設運営のご苦労を肌で感じました。

会話の中で市の福祉行政についても話題になり、大変勉強になりました。また一部、市の政策に対する評価などもいただき、貴重なありがたい意見を伺うことができました。

今回訪問して「誰もが安心して生活できる社会」とはどのような社会であり、理想に近づける地域社会を構築するためには財源、時間、労力、知恵、心が必要であると考えさせられたところがあります。

帰りに利用者が焼かれたパンをいただきました。一生懸命作っていた方々の顔を思い出しながらおいしくいただきました。考えさせられた1日でした。

笠間市長
山口伸樹

